

昨日の「未来を奏でるコンサート」はいかがでしたでしょうか。



エローラホールで行われましたコンサートにはすみれ組のご家族だけではなく、大勢のこどものもりのご家族の皆様にもおいていただき、ありがとうございました。

年長児にとっては例年より2ヶ月あまり早い時期の開催でしたが「こどものもり」で大切にしている歌への思い（ただ大きな声を出してうたう“どなる”のではなく、歌の意味を知り、心に響く歌声）を感じ取っていただければ大変うれしいです。これからの年長児の育ちを園と家庭とで応援していきたいです。

年長児さん、ステキに「お茶会体験」をしました！！

本日はおれんじコースとあおコースの子どもたちが和室にてお茶会体験をしました。そして明日はバスコースと黄色コースが体験します。先生は園長の妹夫婦で、九州の小倉からわざわざ子どもたちの為に来てくださいました。（サポートとして野田から姉夫婦もかけつけました。（いつもランチ後の休息に使っている「和室」にL字型に赤いもうせんを敷き、給湯室を「水屋」に見立てて、「お客さん」と「お運び役」に分かれて交替で次のようなことを経験しました。

お客さんは・・・

①お盆の上におかれた3種のお菓子を「お先にいただきます」と左手にいる人に手をついてお辞儀をして、お盆に右手を添えて懐紙の上に取り、ていねいに食べます。

②お茶が自分の前に運ばれてくると隣の人に「お先にいただきます」と言って、お茶碗を両手で持ち、（心で感謝しながら）茶碗の正面に口をつけないように回してからいただき、飲み終わると茶碗の淵を手で拭き、茶碗の正面を元に戻して置きます。

お運び役は・・・

①水屋からお茶碗を両手で持ち、どうぞと言ってお客さんの前にゆっくりと運び、置きます。

②飲み終わったお茶碗をお客さんの前に座ってから、両手で持ち、水屋まで持ってきます。

どの子も緊張していましたが、上手にお菓子をとり、落とすことなく味わっていましたし、ていねいに頭を下げお辞儀をすることを経験していました。運び役の子はゆっくりと両手で持って運ぶことや立ち振舞いもていねいにゆっくりとしていました。こどもたちにとって新鮮な経験であったようで、各コースでは年下の子たちに身振り手振りで伝えている姿がありましたし、小さい子たちも見学に来ている姿がありました。



外国よりのお客様が来園しました！

本日オーストリア・グラーツより来られ、広島大学准教授のマウトナー・エファ先生と蘆田先生が来園し、幼保一体で子ども中心の保育環境やゆったりとした雰囲気感動していただきました。また現地の民族衣装を着て絵本を読んだり、ゲームを教えてくださいました。

